

セーレン商事製ポンジクロス (SS2000シリーズ) のお取り扱い方法について

エプソン販売株式会社

エプソン製大判インクジェットプリンターでお使いになる場合、下記の事項をお読みにになり、正しくご使用ください。

対象機種	PX-7000/PX-9000/PX-7500(S)/PX-9500(S)/PX-7500N/PX-9500N/PX-7550(S)/PX-9550(S)/PX-F8000/PX-F10000 PX-H7000/PX-H8000/PX-H9000/PX-H10000/SC-T3050/SC-T5050/SC-T7050/SC-T3250/SC-T5250(D)/SC-T7250(D) SC-T3255/SC-T5255(D)/SC-T7255(D)/SC-T3150(N)/SC-T3450(N)/SC-T5150(N)/SC-T5450(M)/SC-T7750D/SC-P6050 SC-P7050/SC-P7550/SC-P8050/SC-P8550D/SC-P9050/SC-P9550/SC-P10050/SC-P20050
------	---

【使用・保管環境について】

- 1) プリンター標準添付のノーマル・スピンドル(約50mm芯)、用紙ホルダーを使用できます。
- 2) プリンターの操作パネルで、次の設定を行ってから用紙をセットしてください。下記以外の設定の場合、給紙不良・故障の原因になります。

機 種	オートカット	ロール紙余白	プラテンギャップ
PX-7000/PX-9000	オフ	先端15mm	最大
PX-7500(S)/PX-9500(S)/PX-7500N/PX-9500N/PX-7550(S)/PX-9550(S)	オフ	先端35mm	最大
PX-F8000/PX-F10000/SC-T3050/SC-T5050/SC-T7050	オン	先端45mm	デフォルト
SC-T3250/SC-T5250(D)/SC-T7250(D) SC-T3255/SC-T5255(D)/SC-T7255(D)	(オフも可)		広め
PX-H7000/PX-H8000/PX-H9000/PX-H10000/SC-P6050/SC-P7050 SC-P7550/SC-P8050/SC-P8550D/SC-P9050/SC-P9550/SC-P10050 SC-P20050/SC-T3150(N)/SC-T5150(N)/SC-T3450(N)/SC-T5450(M) SC-T7750D	オン (オフも可)	デフォルト	デフォルト

！ご注意 必ず用紙の反りがないことを確認してください。紙詰まりによりプリンター故障の原因になります。

- ・用紙セット前に、用紙先端が上反りしている場合は、先端をカットしてから用紙をセットしてください。
- ・用紙セット後も、用紙先端が上反りしていないか確認してから印刷してください。
- ・上反りがある/ヘッドこすれ汚れが発生する場合は、操作パネルの▼ボタンで数センチ(SC-Tシリーズでは16cm以上)紙送りし、プリントヘッドが往復する部分の用紙が反っていないことを確認してから印刷してください。
- ・オートカット使用での連続印刷を行う場合は、使用する印刷データの上端部に5cm以上(SC-Tシリーズでは16cm以上)の余白を入れることで連続印刷できます。

- 3) メディアの装着の際に、メディアがたるんでいないか(巻きがゆるんでいないか)をご確認ください。
そのまま印刷すると、給紙不良・故障の原因になります。スピンドルを回して巻き直すなどの対応を行ってください。
- 4) PX-7000/PX-9000/PX-7500(S)/PX-9500(S)/PX-7500N/PX-9500N/PX-7550(S)/PX-9550(S)では、内蔵のオートカッターではカットできません。オートカッターを使用すると、プリンター故障の原因になります。オプションのカッターユニット(手動でカッティングを行うユニット)でカットするか、市販のハサミなどを用いて、手作業でカットしてください。
- 5) 連続して印刷する場合、1枚ごとにカットせずに印刷を続け、すべての印刷完了後にカットしてください。連続印刷の場合、長尺になりますので、バスケットを使用せずに、前方排紙してください。
- 6) カット操作を行った場合、一度プリンターからメディアを排紙してから、改めてメディアを給紙し直してください。カット直後にそのまま印刷すると、給紙不良・故障の原因になります。
SC-T3050/SC-T5050/SC-T7050/SC-T3250/SC-T5250(D)/SC-T7250(D)/SC-T3255/SC-T5255(D)/SC-T7255(D)では、カットしたメディアがバスケット内に落ちないため、バスケットを使用しないで印刷してください。
- 7) 操作パネルによる巻き戻し(Back Feed)は行わないでください。もし行ってしまった場合には、一度プリンターからメディアを排紙してから、改めてメディアを給紙し直してください。そのまま印刷すると、給紙不良・故障の原因になります。
(カット操作の際の用紙送りは可能ですが、カット後はメディアの排紙・再給紙が必要です。)
- 8) 自動巻き取りユニットを使用する場合は、テンショナーを使用してください。また左右に多少巻きズレする場合があります。
- 9) 四辺フチなし印刷には対応していませんので、設定しないでください。
- 10) 印刷直後に印刷面をこするとインク落ちする場合があります。その場合は約15分以上乾燥させて下さい。
- 11) 使用後のメディアは、プリンターに装着したまま保管しないでください。プリンターから取り外し、巻き直してからパッケージに戻し、高温・火気・多湿・水漏れ・直射日光・結露を避け、常温・常湿の室内で保管してください(展示・保管・取り扱い環境: 温度15～25℃、湿度40～60%)。多湿環境で保管すると、メディアがカールすることがあります。カールしたメディアは、給紙不良・故障の原因になりますので使用しないでください。

【プリンタードライバー設定について】

対応機種	用紙種類	用紙調整	用紙送り補正值	解像度	オート カッター
PX-7000/PX-9000	MC/PMクロス<防炎> (マットブラック使用)	インク濃度 デフォルト (PX-7000/9000は-20%) 用紙厚 デフォルト	-60~-70	スーパーファイン(720dpi)	使用できません ※2/※3
PX-7500S/PX-9500S PX-7550S/PX-9550S				スーパーファイン(720dpi)以下 でご使用ください ※1	
PX-7500/PX-9500 PX-7500N/PX-9500N PX-7550/PX-9550		インク濃度 -20 用紙厚 15	デフォルト		
PX-H7000/PX-H8000 PX-H9000/PX-H10000	EPSON画材用紙 /顔料 (マットブラック使用) MC厚手マット紙 (マットブラック使用)	インク濃度 -30 用紙厚 15	+30	高精細 ※4	使用可
PX-F8000 PX-F10000		インク濃度 -10 用紙厚 15	+50		
SC-T3050/SC-T5050/SC-T7050		インク濃度 -20 先端余白 45mm	+20		
SC-T3250/SC-T5250(D) SC-T7250(D)/ SC-T3255 SC-T5255(D)/SC-T7255(D) ※5		インク濃度 -20 ブラテンギャップ 広め 先端余白 45mm	SS2000-610 +70 SS2000-914 +40 2000-1062 +45		
SC-P6050/SC-P7050 SC-P8050/SC-P9050		インク濃度 -20 用紙厚 デフォルト	SS2000-610 +40 SS2000-914 +30 2000-1062 +40		
SC-P10050/SC-P20050		インク濃度 -20 用紙厚 デフォルト	速いモード +60 きれいモード+10 高精細モード±0		
SC-P7550/SC-P9550 ※6		インク濃度 -10	デフォルト	きれい・高精細	
SC-T3150(N)/SC-T5150(N)		インク濃度 -30	デフォルト	速い・きれい・高 精細	
SC-T3450(N)/SC-T5450(M)		インク濃度 -20	デフォルト	きれい・高精細 以上	
SC-T7750D/SC-P8550D		インク濃度 0	パネルで用紙送り 補正・自動を実行		

※1 720dpiを超える解像度で印刷した場合、にじみ・むらが発生します。

※2 パネル操作で、オートカット「オフ」設定の状態にしてから、メディアを装着してください。

用紙先端が排紙ローラーの下に来ており、用紙先端余白が長く取られていることを確認してください。

※3 プリンタードライバーの設定が操作パネルの設定よりも優先されるため、プリンタードライバーで「オートカット：カットなし」に必ず設定してください。PX-7000/PX-9000で古いバージョンのドライバーをお使いの場合、「自動カッター」のチェックを外してください。

※4 高品質な印刷をしたい場合は、プリンタードライバーの詳細設定で印刷品質を高い解像度に設定することをお勧めします。
また、双方向印刷のチェックを外すことで、より高品質な印刷を行うことができます。

※5 ダブルロール機でロール2からの給紙が正常にできない場合は、自動給紙設定をオフにしてロール1から給紙してください。
左右フチなし印刷でヘッドこすれ汚れが発生する場合は、給紙後16cm以上紙送りしてから使用してください。

※6 プリンターの操作パネルで吸引力を-4に設定してください。また裏面の左右端に筋状のインク汚れが付着する場合があります。

※7 お使いの環境等によってバンディングが目立つ場合は、用紙送り補正值を推奨値から適宜調整してください。

1) にじみが目立つ場合

クロスメディアであるため、にじみ・ムラが出ないものではありませんのでご注意ください。用紙種類を上記表の設定に合わせてから、「用紙調整」の「インク濃度」を上記表の値に設定することでにじみ・ムラの発生を低減させる事ができます。

2) 横スジが目立つ場合

ノズル詰まりやギャップのズレが無いことを確認してから、「用紙調整」の「用紙送り補正值」を上記表の値に設定してください。

※ノズル詰まりやギャップのズレがある場合、ヘッドクリーニングやギャップ調整を行ってください。必要に応じパワークリーニングを実施してください。

※ボンジクロスでは、ノズルチェックやギャップ調整は行えません。MC厚手マットロール等をご使用ください。

※プリンタードライバーの「用紙調整」の設定画面は次の操作で表示できます。

- ・PX-7000/PX-9000：基本設定タブで「モード設定」を「詳細設定」選択→「設定変更」ボタンをクリック→「用紙調整」ボタンをクリック
- ・SC-T3050/SC-T5050/SC-T7050/SC-T3250/SC-T5250(D)/SC-T7250(D)/SC-T3255/SC-T5255(D)/SC-T7255(D)/SC-T3150(N)
SC-T5150(N)/SC-T3450(N)/SC-T5450(M)/SC-T7750D/SC-P8550D：拡張設定タブで「用紙調整」ボタンをクリック
- ・その他の機種：基本設定タブで「用紙調整」ボタンをクリック

【お問い合わせ】

S21924

セーレン商事株式会社(福井本社)

<https://www.cloth.jp/>

〒918-8003 福井市毛矢1丁目10-1 TEL:0776-33-8833 FAX:0776-33-8827

※お問い合わせの際には、使用しているメディアとプリンターの機種名をお知らせください。